海外派遣留学プログラム 留学中報告書

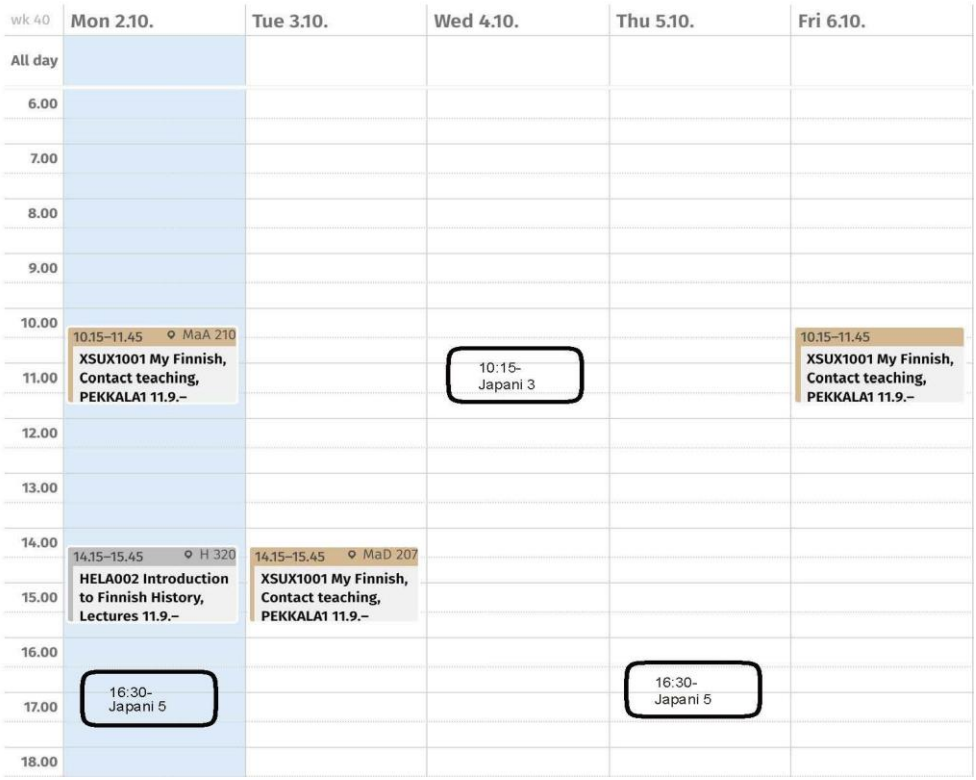
所属：融合理工学府

学年：２

留学先大学：University of Jyvaskyla

現在の学期：Autumn Semester

時間割：



履修科目や近況について

１．勉学の状況

＜履修登録と授業について＞

ユヴァスキュラ大学では、留学生は 1 セメスターで 30 単位取ることを推奨されていますが、私は年間で約 30 単位を履修する予定でいます。現在のところ「My Finnish」というフィンランド語の授業と「Introduction of Finnish History」というフィンランドの歴史の授業、オンライン個人学習の「Academic Vocabulary」という授業を受講しています。また、「Japani」という日本語の授業に助っ人として参加しています。この授業は、あくまでもボランティアとして参加しているので、単位はもらえないですが、日本語を勉強しているフィンランドの学生と交流できる、とても良い機会です。

履修登録は、オリエンテーション期間中に一年間分の履修を組みます。大学に願書を出す時に一度決めるかと思いますが、現地での履修登録が正式なものになります。シラバスは「SISU」というサイトから検索できます。千葉大学では履修登録期間が統一されていますが、こちらの大学では個々の授業で履修登録期間が異なり、シラバスの授業詳細から確認しながら決めることができます。

以下、選択した授業内容の詳細です。

・My Finnish

フィンランド語の授業はいくつか用意されていますが、この授業は易しい順に、2 番目のレベルに位置する授業です。交換留学生だけでなく、海外からきた正規学生（degree student）も多い印象です。語学の授業はつまらない印象があるかもしれませんが、私の取った授業ではかなりアクティブに学んでいます。ペアワークやグループワークなど、話して動いて楽しくフィンランド語を身につけることができます。私はこの授業スタイルが好きなので、とても満足しています。ただ先生によって教え方が異なると聞いたので、1 回目の授業を受けて合わないと思ったら変更してもいいかもしれません。

・Introduction to Finnish History

タイトル通り、フィンランドの歴史を学びます。交換留学生がほとんどで、英語で受講しています。基本的には講義形式ですが、授業中に数回、グループで簡単な意見交換をしています。授業内容がかなり細かいので、復習は欠かせません。また、授業を聞いて考えたことを毎回の授業ごとに各自記録しておく、Lecture Diary というものを作ります。

・Academic Vocabulary (E-learning Module)

学習方法を工夫しながら、英語の語彙を増やすことが目的です。新しく知った単語を自分なりにスライドにまとめて、締め切りまでに提出します。自分の好きな時間に、学習に取り組む self study です。

・Japani 5

ユヴァスキュラ大学では、日本語の授業「Japani1～5」が開講されています。ユヴァスキュラ大学にいる日本人の先生からメールをいただき、この授業を知りました。気軽に参加して良いとのことで、主に授業中のグループワークなどに混ざりアシスタントしています。

＜授業外の活動について＞

私は特にサークル等には所属していません。ただ毎週水曜日に JYJY というフィンランド人と日本人コミュニティのミーティングがあり、たまに参加しています。特に何か特別なことをするわけでもなく、雑談をしたり、ゲームをしたりとオープンな場です。また、毎週金曜日には多くの美術館が入場無料になるため、授業後に見に行っています。(最近、私はフィンランド全土で利用可能な Museum card を購入したので年中好きな時に訪問できます)

＜大学生活について＞

ユヴァスキュラ大学では、授業が始まる前の 1 週間を通してオリエンテーションがありました。この期間を通して、大学について説明、履修の仕方、住まいについて、街について等々、留学生活に必要なことを一通り知ることができます。ユヴァスキュラ大学にはチューターシステムがあり、私の場合は、9 人の留学生に対して 2 人の現地学生のチューターがついていました。とても親切な方々で、

彼らが独自にキャンパスツアーや大学外のダウンタウンの案内までしてくれました。

大学まで私は、徒歩で通っています。おおよそ 30 分くらいです。雨が強い日や教室が遠い日はバスを使っています。（学生割引で通常運賃 2.7€が 1.5€になります）自転車で通学している学生が多い印象ですが、電動スクーターや私のように徒歩・バスの学生もいます。当初、自転車を買うまたはレンタルすることも考えましたが、私は雪が心配だったので、今回は見送りました。

またユヴァスキュラ大学はカフェテリアがとても充実しています。キャンパス内に 8 つくらいあり、その日のスケジュールや気分に合わせてお昼の場所を選ぶことができます。学生であれば、2.95€で食べることができます。大学の学生組合（JYY）に加入するともらえる学生証を毎回提示しています。また、大学正規のアプリ「MyJYU」から、各カフェテリアのメニューや営業時間が確認できます。このアプリはとても便利（おそらく必須）で、キャンパスマップ、図書館のデジタルカード、個人の時間割がインストールされているので、移動中にすぐ確認することができます。

２．生活の状況

＜寮生活について＞

私は Soihtu という寮に住んでいます。Kortepohja という学生村になっており、ユヴァスキュラ大学の学生の 6 割がここに住んでいると聞きました。私はシェアタイプではなく、Studio タイプ（個人部屋）です。私の棟は最近改装されたらしく、とても綺麗で驚きました。家具付きの部屋なので、すでにベッド、机、椅子、一人がけソファ、カーペット、一通りのキッチン用具が用意されていました。キッチン、ユニットバス（シャワールーム+トイレ+洗面台）が完備されたワンルームです。洗濯は共用のランドリーで行いますが、私のいる棟にはランドリールームがないため、いったん外に出て、違う棟まで行かなければならず、少々不便です。また、フィンランドと言えばサウナですが、Soihtu の住人であれば無料で使える男女別公共サウナがあり、私は週に 2、3 回利用しています。月々8€のプライベートサウナもありますが、現地の学生と公共サウナで出会うこともできるので、おすすめです。

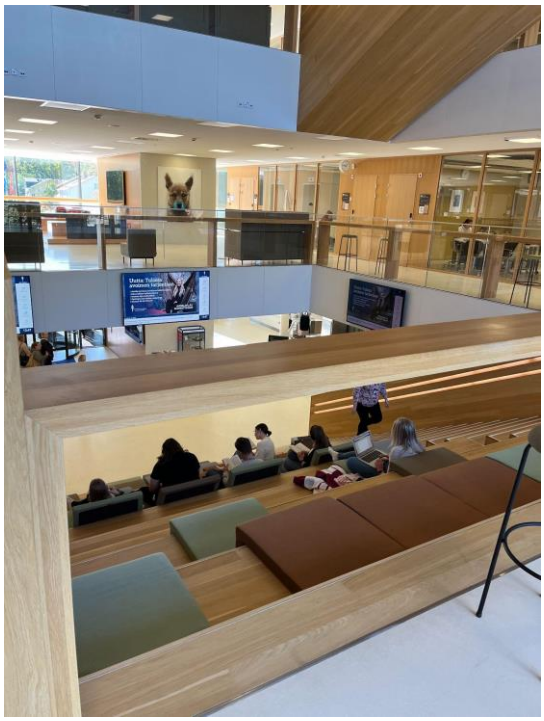
食事は、朝夕は自炊です。朝ごはんは基本的にパンです。フィンランドではライ麦パンがよく食べられているようで、食物繊維も豊富で身体に良いと思って私もよく食べています。夕食は、パスタ、ポリッジ（オーツ麦版お粥）を回しながら、スープ、鶏肉またはサーモン料理を作っています。フィンランドは物価が高いイメージですが、野菜・果物に関しては、日本とあまり変わらない気がします。普段使う野菜は、ジャガイモ、人参、玉ねぎ、カリフラワー、キャベツ、トマトなどです。また、スーパーではプラムがよく売られており、私の冷蔵庫にも常に入っています。

スーパーは家から歩いて 10 分ほどのところに大きめのスーパーが 2 件(S market、K supermarket)あり、家から 3 分ほどのところに小さめのスーパーが 1 つあります。S market の方が安いようですが、K supermarket でもたまにセールをしているので、その時々で使い分けています。

＜休日ついて＞

到着後、しばらくの週末は暮らすのに必要なものを買いに出かけていました。服や靴などは、セカンドハンドショップでよく買います。新品を買うより断然安く手に入れることができるので便利です。

また、日本語の勉強をしているフィンランドの学生がシナモンロールを作る会を開いてくれたり、日本に留学していた方の実家にお邪魔させてもらったりと、ありがたいことに充実した休日だったと感じます。ただ、特に予定がない日は、寮の近くの森を散歩したり、1 週間を振り返りながらのんびり家で過ごしています。



建物と緑の環境が調和している素敵なキャンパスです。カフェテリアが多いこともそうですが、各建物に自習スペースなどがあり、フィンランドの大学がいかに居場所を大切にしているかが伺えます。

（写真左：キャンパス内の道　　右：お気に入りの場所）

とある日の学食です。栄養バランスもよく満足しています。